



# 広がる支線交通

## 平成23年度の運営状況

お問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会 (市民課内 ☎2142)

市の公共交通は、幹線(こいこいバス)と支線の組み合わせにより、効果的で効率的な整備を行っています。平成23年度には、新たに3つの支線交通の実証運行が開始され、合計で4路線となりました。今回は支線交通の運営状況をお知らせします。

### ■乗合タクシー(三ツ石)

(平成21年10月5日開始)

地域で主体的に利用促進を図っており、利用者は順調に増加しています。

### 運営状況

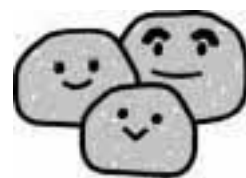
収益率は約48%で、目標の50%に向けて着実に改善されています。

### 乗合タクシー運営状況

運行経費	948,600円
運賃収入	452,061円
収益率	47.7%
運行損益	△496,539円

### 利用状況

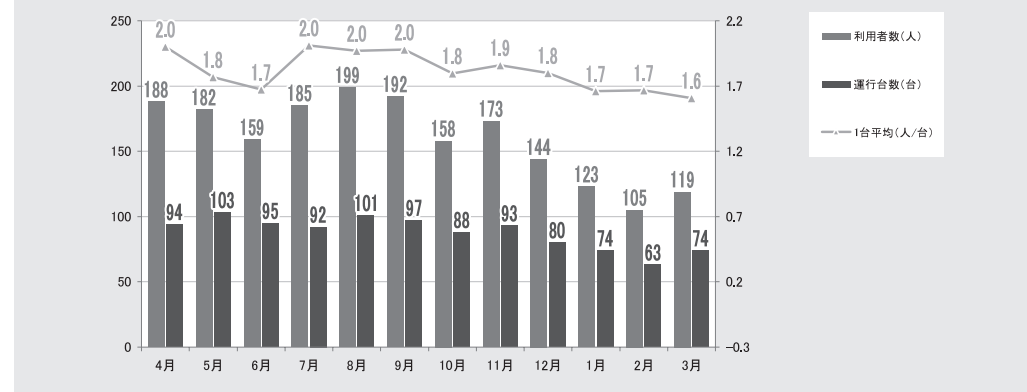
年間1、900人、月平均で160人の方が利用されました。目標の「便平均2人」を目指して利用促進を進めていきます。



### 乗合タクシー利用状況

年度	利用者数	運行台数	便平均
22	1,564人	895台	1.75人/台
23	1,927人	1,054台	1.83人/台

### 乗合タクシー月別の利用者数の推移(平成23年度)



### ■のりあいタクシー(湯舟)

(平成24年1月23日開始)

運行が始まったばかりで、利用者が限られています。地域全体での取り組みとなるよう、利用促進を進めていきます。



### のりあいタクシー運営状況

利用者数	42人
運行台数	33台
便平均	1.27人/台
運行経費	19,800円
運賃収入	6,999円
収益率	35.3%
運行損益	△12,801円

### ■ひまわりタクシー

(平成23年7月1日開始)

昨年7月に玖波7丁目まで運行が始まり、1月16日から8丁目でも利用できるようにになりました。アンケート結果や利用状況をふまえ、改善策を検討していきます。

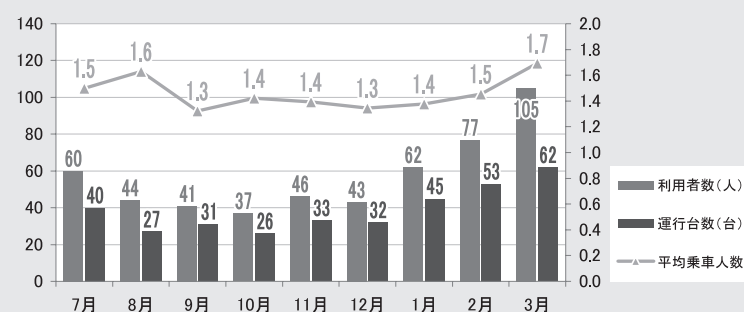
### 運営状況

### ひまわりタクシー運営状況

運行経費	288,300円
運賃収入	99,268円
収益率	34.4%
運行損益	△189,032円



### ひまわりタクシー利用者数の推移(平成23年度)



### ■栄ぐるりんバス

(平成24年2月1日開始)

支線交通では初となるコミュニティバスとしてスタートしました。サントピア大竹などにも行くことができ、他の地域からの利用も見込まれています。現在のところ利用が低調ですが、地域の方と一緒に、運行内容や利用促進策を検討していきます。



### ぐるりんバス運営状況

利用者数	286人
1日平均	11人
運行経費	740,480円
運賃収入	70,500円
収益率	9.5%
運行損益	△669,980円

### 支線交通Q&A

**Q** なぜ支線交通が必要なのですか？

**A** 市では、沿岸部の移動環境を便利で効率的に整備するため、「幹線と支線」に住み分けて整備しています。幹線である「こいこいバス」で全地域をカバーすれば、支線交通は必要ないかもしれません。

しかし、2台運行のままそれを実施すると、運行時間が長くなります。時間が長くなると、運行間隔が空くこととなります。また、乗車時間も長くなり、不便な乗り物になってしまいます。逆に、運行間隔を維持したまま全地域をカバーするには、多くのバスが必要になります。台数を増やせば、その分経費が増大してしまいます。そこで、多くの方が訪れると思われる施設を「こいこいバス」で結び、主にその地域にお住まいの方が利用する区域は「支線交通」として別の手段を導入することで、それぞれの利便性と効率性を確保しようとしています。

支線交通は、地域に合った仕組みとするために、地域と一緒に検討していきます。お困りの地域や、興味がある方は、お気軽に事務局へご相談ください。

**利用状況**  
徐々に利用者が増加しています。制度が地域に浸透してきています。

### ひまわりタクシー利用状況

年度	利用者数	運行台数	便平均
23	515人	349台	1.48人/台